

XENYX 1002SFX / XENYX 1202SFX

Premium Analog 10/12-Input Mixer with
USB Streaming Interface and Internal Effects

JP

JP 安全にお使いいただく
ために**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもののみをお使いください。

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

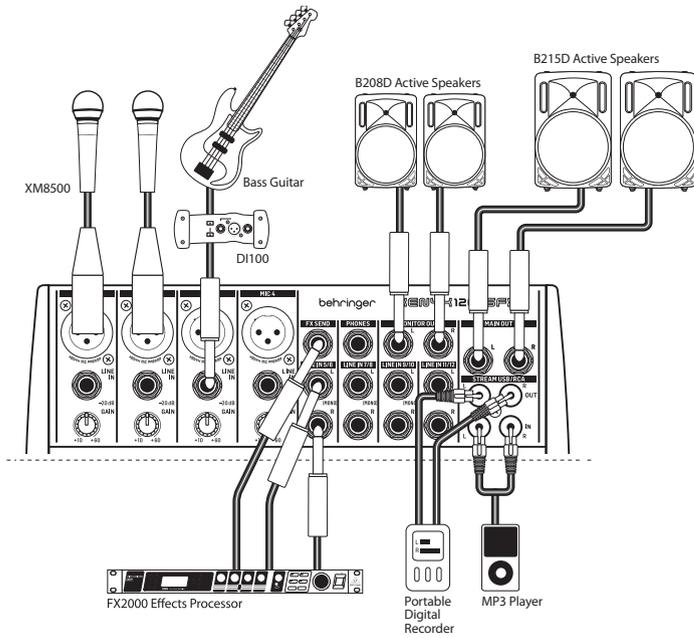
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

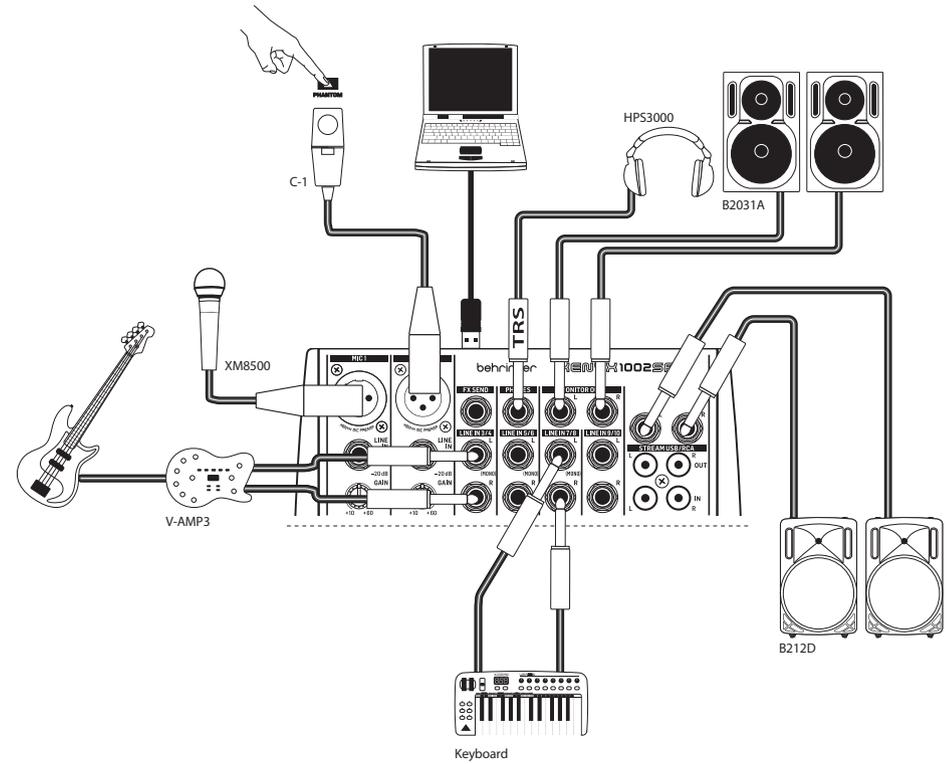
XENYX 1002SFX / XENYX 1202SFX フックアップ

ステップ 1: フックアップ

ライブパフォーマンス



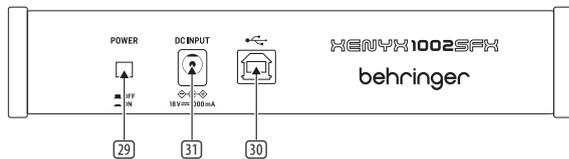
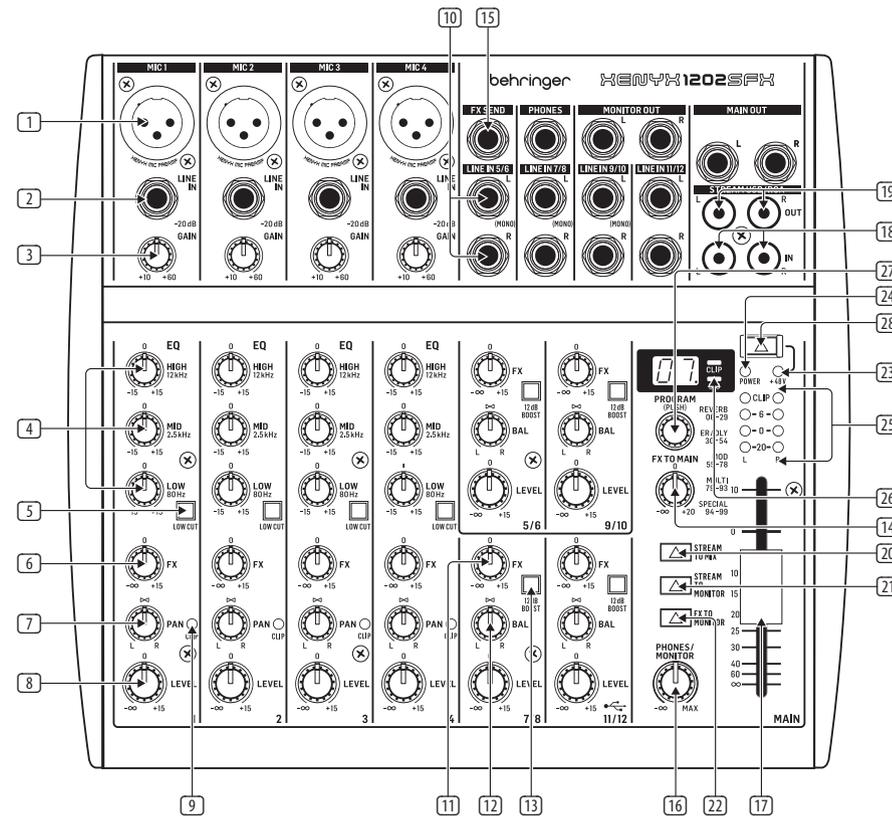
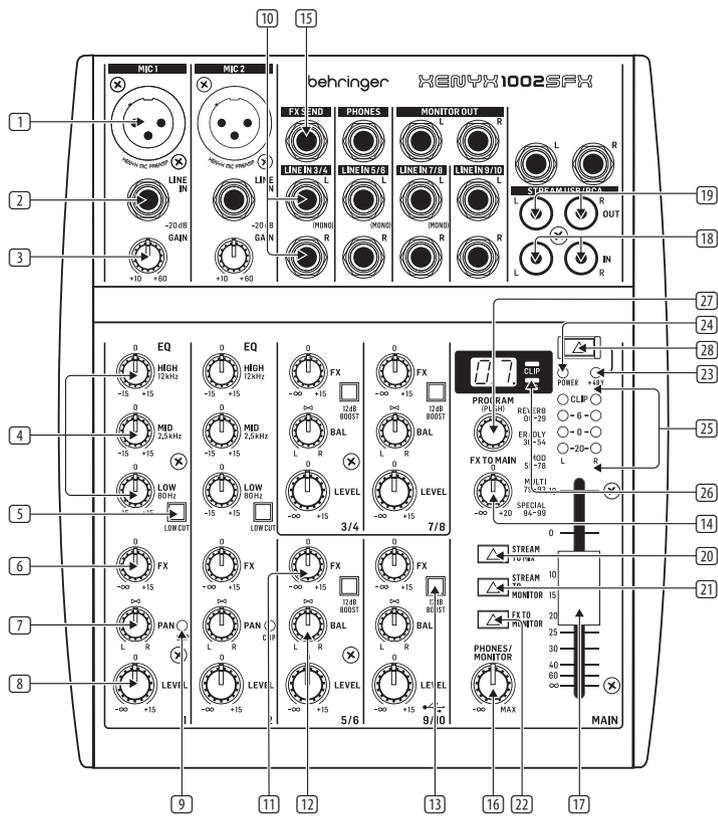
ホームスタジオ



XENYX 1002SFX / XENYX 1202SFX コントロール

JP

ステップ 2: コントロール



XENYX 1002SFX / XENYX 1202SFX コントロール

ステップ 2: コントロール

コントロール類の章ではミキシングコンソールの各種コントロール類について解説します。すべてのコントロール、スイッチおよびコネクタについて、詳しくご説明します。

- 1 **MIC (マイク)** – 各モノラル入力チャンネルには、XLR コネクタのバランスマイクロフォン入力、コンデンサーマイクロフォン用の、オン / オフ切り替え付き +48 V ファンタム電源を装備しています。プリアンプのゲインは、通常、高価なアウトボードプリアンプに搭載される、歪みやノイズのないタイプを採用しています。
- 2 **LINE IN (ライン入力)** – 各モノラル入力には、 $\frac{1}{4}$ インチコネクタのバランスライン入力を装備しています。この入力端子にはアンバランス機器 (モノラルジャック) も接続可能です。一度に使用できるのは、チャンネルにつきマイクロフォンまたはライン入力のいずれか一方のみです。ご留意ください。同時に両方を使用することはできません！
- 3 **GAIN (ゲイン)** – GAIN コントロールは入力ゲインの調節に使用します。いずれかの入力端子への、信号ソースの接続および取り外しの際は必ず、このノブを反時計回り方向に完全に回し切ってください。声を出したり機材をプレイしながら、GAIN ノブを上げ、最大ピーク時に CLIP LED が短く点灯するレベルになったら、少しだけノブを下げます。

- 4 **EQ (イコライザー)** – 各モノラル入力チャンネルには 3 バンドイコライザーが装備されています。各周波数帯で、ブーストおよびカット共に 15 dB の範囲で調節可能です。中央位置ではイコライザーは無効になります。
- 5 **LOW CUT (ローカット)** – さらに、モノラルチャンネルには、信号中の不要な低域成分をカットするための、急峻なローカットフィルターが装備されています。
- 6 **FX (エフェクト)** – FX センドでは、1 つ以上のチャンネルからの可変コントロールのフィードと、それらの信号を統合してバスにまとめることができます。バスはコンソールの FX センド出力から送出され、外部エフェクト機器へとフィード可能になります。エフェクトユニットからのリターンは、コンソールのステレオチャンネルへと戻します。ステレオチャンネルを通じて外部 FX を戻す場合、そのチャンネルの FX コントロールを最小に保持し、FX ループによるフィードバックを防ぐようにします。各 FX センドはモノラルで、最大 +15 dB ゲインとなります。FX センドは内蔵エフェクトプロセッサへ直接ルーティングされます。
- 7 **PAN (定位)** – PAN コントロールは、チャンネル信号のステレオ画像における位置を決定します。このコントロールはコンスタントパワー特性を備えており、ステレオパノラマでの位置に関わりなく、信号は常にコンスタントレベルを維持します。
- 8 **LEVEL (レベル)** – LEVEL コントロールで、メインミックスにおけるチャンネル信号のレベルを決定します。
- 9 **CLIP (クリップ)** – モノラルチャンネルの CLIP LED は、入力信号のレベルが高すぎて、歪みが生じる可能性がある時に点灯します。その場合は GAIN コントロールで、LED が点灯しなくなるまでプリアンプレベルを下げてください。

- 10 **STEREO LINE IN (ステレオライン入力)** – 各ステレオチャンネルは、左右チャンネルの、2 つのバランス型 $\frac{1}{4}$ インチジャック ラインレベル入力を備えています。“L” (左) と印のあるジャックのみを使用した場合、そのチャンネルはモノラルとして機能します。ステレオチャンネルは、一般的なラインレベル信号を扱うことを想定して設計されています。両入力端子ともアンバランス型ジャック対応です。USB オーディオは最終ステレオチャンネルにルーティングされます。ジャックコネクタを挿入すると、USB 信号との接続が解除され、ジャックからのオーディオが選択されます。左 (MONO) 機能は最終ステレオチャンネルでは利用できません。
- 11 **FX (エフェクト)** – ステレオチャンネルの FX センドは、モノラルチャンネルの FX センドと同様に機能します。ただし、FX センドバスはいつでもモノラルのため、モノラル統合信号はステレオ入力から取り込まれてから、FX バスに送信されます。
- 12 **BAL (バランス)** – BAL コントロールは左右の入力信号の相関的なレベルを決定し、信号はその後、メインステレオミックスバスにルーティングされます。チャンネルの左側ライン入力のみを使用し、モノラル動作となっている場合は、モノラルチャンネルの PAN コントロールと同様に作用します。
- 13 **12 dB BOOST (12 dB ブースト)** – ホームレコーディングレベル入力〜スタジオレベル入力に対応するため、ステレオ入力に装備されているスイッチです。
- 14 **FX TO MAIN (エフェクトからメインへ)** – FX TO MAIN コントロールで、内蔵エフェクト信号をメインミックスへフィードします。コントロールを反時計回り方向いっぱい回すと、ミキシングコンソール統合信号からエフェクト信号が無くなります。

- 15 **FX SEND (エフェクトセンド)** – FX SEND コネクタからは、ユーザーが、FX コンソールを使用して各チャンネルからピックアップした信号を出力します。この端子から外部エフェクト機器の入力端子へ接続して、FX バスのマスター信号をエフェクト処理します。エフェクトミックスができた後、処理済み信号をエフェクト機器の出力端子からステレオ入力へとルーティングして本機に戻します。
- 16 **PHONES/MONITOR (ヘッドフォン / モニター)** – このステレオ PHONES ジャック (コネクタパネル一番上) に、ご使用のヘッドフォンを接続します。MONITOR OUT アンバランス型ジャックには、メインミックス信号 (FX 含む) または、選択した場合は STREAM 信号のみもしくは FX 信号のみが出力されます。PHONES/MONITOR コントロールで、ヘッドフォンとメインモニター出力の両方のレベルを調節します。
- 17 **MAIN MIX (メインミックス)** – MAIN OUT コネクタはバランス型モノラルジャックです。この出力の音量調整は MAIN MIX フェーダーでおこないます。
- 18 **STREAM INPUT (ストリーム入力)** – STREAM INPUT は、外部信号ソース (例: 12 dB ゲイン装備の RCA コネクタ経由で CD プレイヤー、または USB コネクタ経由でコンピュータ) を、コンソールに引き込む際に使用します。標準ステレオライン入力としても使用し、セカンドミキサーまたは Behringer ULTRALINK PRO MX882 を接続可能です。
- 19 **STREAM OUTPUT (ストリーム出力)** – これらのコネクタは、MAIN OUT より取り出されます。アンバランス型で 12 dB のアッテネーションを備えており、ホームレコーディングのレベルに、より適しています。STREAM OUTPUT から、ご使用のレコーディング機器の

- 20 **STREAM TO MIX (ストリームをミックスへ)** – このボタンを押すと USB および STREAM IN 信号をメインミックスヘルパーにルーティングします。
- 21 **STREAM TO MONITOR (ストリームをモニターへ)** – このボタンを押すと USB および STREAM IN 信号を PHONES ジャックおよび MONITOR OUT ジャックへルーティングします。
- 22 **FX TO MONITOR (エフェクトからミキサーへ)** お使いのヘッドフォンもしくはモニタースピーカーで、FX センド信号のみをモニターしたい場合、FX TO MONITOR スイッチを押します。そうすると、モニターのメインミックス信号をミュートしながら、FX SEND 出力をモニターにルーティングします。
- 23 **+48 V** – ファンタム電源がオンの時、+48 V LED が点灯します。PHANTOM スイッチを押すと、全モノラルチャンネルの XLR コネクタでファンタム電源が有効になります。
- 24 **POWER (電源)** – コンソールの電源がオンの時、POWER LED が点灯します。
- 25 **レベルインジケータ** – 信号レベルを正確に表示する、高精度 4 段階ディスプレイです。
- 26 **SIG (信号) および CLIP LED** – エフェクトモジュールの SIG LED は、存在する信号のレベルが十分ある時に点灯します。この LED は常に点灯している必要があります。一方、CLIP LED は必ず、たまに点灯する程度に設定してください。常時点灯している状態では、エフェクトプロセッサ一過入力となり、不快な歪みが生じます。その場合は、FX コントロールを適宜下げてください。

- 27 **PROGRAM (プログラム)** – PROGRAM コントロールには 2 つの機能があります: PROGRAM コントロールを回すと、エフェクト番号をスクロールします。ディスプレイで回し合わせたプリセット番号が点灯します。選択を確定するには、PROGRAM コントロールを押します; 点滅が停止します。
 - 28 **ファンタム電源ボタン** – コンデンサーマイクロフォンを使用する際、必要に応じて、このボタンを押して +48 V のファンタム電源を XLR 入力に供給します。
 - 29 **POWER (電源)** – ユニットの電源をオン / オフします。必ずパワーアンプおよびスピーカーの電源が下がっているかまたはオフになっていることを確かめてから、ミキサーのオン / オフ操作をしてください。
 - 30 **USB コネクタ** – ミキサーを標準 USB ケーブルでご使用のコンピューターと接続します。
 - 31 **DC INPUT (AC 電源入力)** – 付属の電源ケーブルをここに接続します。
-  ミキサーには、USB を通じたバスパワー給電はできません。ミキサーへの給電は、常に付属の電源アダプターをご使用ください。

XENYX 1002SFX / XENYX 1202SFX はじめに

ステップ 3: はじめに

チャンネルのゲインを正しく設定するには、まず入力チャンネルの LEVEL コントロール を中央位置 (0 dB) に設定します。そしてGAIN コントロールを使用し、レベルメーターで信号のピークが 0 dB になるまで、入力音量を上げていきます。

デジタルレコーダーへのレコーディングにおいては、レコーダーのピークメーターがオーバーロードにならないようにしてください。アナログレコーダーでは、多少オーバーロードしても微かに歪みが生じるのみですが (これは一般に行われており、好ましい効果を生むことも多々あります)、デジタルレコーダーの場合は、過入力によって即座に歪みが生じます。さらに、デジタル歪みは不快だけでなく、録音物そのものを台無しにしまいます。XENYX のピークメーターのレベル表示は、周波数に実質的に依存しません。レコーディングレベルは、全ての信号タイプにおいて、0 dB が推奨です。

Presets List

Reverb		Early Reflections / Delay		Modulation	
00	Small Chamber	40	Short Delay 1	75	Octave Down
01	Mid Chamber	41	Short Delay 2	76	Minor Chord
02	Big Chamber	42	Mid Delay 1	77	Major Chord
03	Theater	43	Mid Delay 2	78	Jazzy
04	Small Room 1	44	Mid Delay 3	79	Delay + Chorus 1
05	Small Room 2	45	Long Delay 1	80	Delay + Chorus 2
06	Mid Room 1	46	Long Delay 2	81	Delay + Chorus 3
07	Mid Room 2	47	Long Delay 3	82	Delay + Flanger 1
08	Large Room	48	Stereo Delay	83	Delay + Flanger 2
09	Small Hall	49	Ping-Pong Delay	84	Delay + Pitch 1
10	Concert Hall	50	Short Echo	85	Delay + Pitch 2
11	Mid Hall	51	Mid Echo 1	86	Delay + Reverb 1
12	Big Hall	52	Mid Echo 2	87	Delay + Reverb 2
13	Ambient Hall	53	Long Echo 1	88	Delay + Reverb 3
14	Church	54	Long Echo 2	89	Chorus + Reverb 1
15	Short Plate	Modulation		90	Chorus + Reverb 2
16	Mid Plate	55	Soft Chorus	91	Flanger + Reverb 1
17	Long Plate	56	Warm Chorus	92	Flanger + Reverb 2
18	Gold Plate	57	Phat Chorus	93	Detune + Reverb
19	Vint250Verb 1	58	Classic Flanger	Special FX	
20	Vint250Verb 2	59	Warm Flanger	94	LFO Filter 1
21	Mid Spring	60	Stereo Flanger	95	LFO Filter 2
22	Long Spring	61	Classic Phaser	96	Talkbox 1
23	Gated Reverb Short	62	Warm Phaser	97	Talkbox 2
24	Gated Reverb Mid	63	Heavy Phaser	98	Overdrive
25	Gated Reverb Long	64	Stereo Phaser	99	Distortion
26	Gated Alive	65	Slow Tremolo		
27	Reverse Short	66	Fast Tremolo		
28	Reverse Mid	67	Panner 1		
29	Reverse Long	68	Panner 2		
Early Reflections / Delay		69	Detune 1		
30	Short Ambience	70	Detune 2		
31	Mid Ambience	71	Minor Third Up		
32	Live Ambience	72	Major Third Up		
33	Big Ambience	73	Fifth Up		
34	Stadium	74	Fourth Down		
35	Early Reflections 1				
36	Early Reflections 2				
37	Early Reflections 3				
38	Early Reflections 4				
39	Slap Delay				

技術仕様

JP

モノラル入力	
マイクroフォン入力	XLR バランス型、ディスクリート入力回路
マイク EIN (22 Hz-22 kHz) @ 50 Ω	132 dB、A 特性
周波数応答ゲイン +10 dB	10 Hz ~ 150 kHz
周波数応答ゲイン +60 dB	20 Hz ~ 70 kHz
ゲイン範囲	+10 dB ~ +60 dB
最大入力レベル @ +10 dB ゲイン	+12 dBu
入力インピーダンス	2 kΩ バランス型
歪み (THD + N) 1 kHz @ +10 dB ゲイン	0.005%
モノラルライン入力	¼ インチ TRS バランス型コネクタ
インピーダンス	22 kΩ バランス型、10 kΩ アンバランス型
ゲイン範囲	-10 dB ~ +40 dB
最大入力レベル @ 0 dB ゲイン	+21 dBu
ステレオ入力	
ステレオライン	¼ インチ TRS バランス型コネクタ
周波数応答	20 Hz ~ 200 kHz
インピーダンス	22 kΩ バランス型、10 kΩ アンバランス型
最大入力レベル @ 0 dB ゲイン	+21 dBu
ストリーム入力 (アナログ)	RCA アンバランス型コネクタ
インピーダンス	10 kΩ アンバランス型
最大入力レベル	10 dBu
イコライザー	
低域	80 Hz/±15 dB
中域	2.5 kHz/±15 dB
高域	12 kHz/±15 dB
メイン、モニター & エフェクトセンド出力	
タイプ	¼ インチ TRS インピーダンスバランス型コネクタ
インピーダンス	120 Ω
最大出力レベル	21 dBu
ヘッドフォン出力	
タイプ	¼ インチ TRS アンバランス型コネクタ
インピーダンス	23 Ω
最大出力レベル	19 dBu/150 Ω
ストリーム出力 (アナログ)	
タイプ	RCA アンバランス型コネクタ
インピーダンス	1 kΩ アンバランス型
最大出力レベル	10 dBu
メインミックスノイズ	
メインミックス @ -∞	-109 dBu A 特性
チャンネル @ -∞	

FX 部		
タイプ	Klark Teknik	
コンバーター	24 ビット Sigma Delta	
サンプルレート	40 kHz	
USB		
タイプ	B タイプ コネクタ	
USB オーディオデータ	48 kHz 16 ビット	
UAC2 クラスコンプライアント	ステレオ入力 / 出力	
電源供給		
消費電力	15 W	
アダプター入力	100 – 240 V~, 50/60 Hz, 0.5 A	
アダプター出力	18 V DC 1.0 A	
物理仕様		
通常動作温度範囲	5°C – 45°C (41°F – 113°F)	
物理仕様 / 重量		
	サイズ (高さ x 幅 x 奥行き)	重量 (梱包材を除く)
XENYX 1002SFX	50 x 195 x 248 mm (2.0 x 7.7 x 9.8")	1.1 kg (2.4 lbs)
XENYX 1202SFX	50 x 250 x 248 mm (2.0 x 9.8 x 9.8")	1.5 kg (3.3 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧

の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラー

がお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに

電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You